

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		障害者施設整備助成				所管	福祉部 障害福祉課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	186	計画事業名	日中活動の場の整備促進			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり							
		[小 柱] (5)障害者の地域生活を支える支援の充実							
		[施策] ②在宅サービスの充実							
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区社会福祉法人に係る心身障害者(児)施設等運営補助要綱					
	事業対象	直接の対象 : 障害者施設を整備する法人 最終的な対象 : 区内在住の障害者							
	事業目的	域生活の場となる障害者施設の整備を促進し、区内在住の障害者が住み慣れた地域で安心して生活し続けられる環境づくりを図る。							
	事業内容 [29年度]	知的障害者グループホーム、知的障害者生活介護施設、身体障害者生活介護施設等を整備する法人に対して、整備費を助成する。また、区有地の活用に向けて障害者施設整備運営事業者の選定委員会を開催する。							
委託の有無	なし	委託内容	なし						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		達成率
	活動指標	助成件数	件	1	1	0	1	2	50.0%
		成果指標	施設整備数	箇所	1	1	0	1	2
	累計整備数		箇所	6	1	1	2	3	66.7%
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			5,000		0		5,212
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			2,005		2,229		2,095
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		133
		総経費			5,000		0		5,080
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			7,005		2,229		7,308
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0		
一般財源(区負担額)			7,005		2,229		7,308		
前回評価から29年度に改善した事項	区内の物件情報を事業者を紹介し現地の見学を行うなど、積極的に施設整備を促した。また、区有地を民設民営方式により、知的障害者グループホームおよび知的障害者生活介護施設の整備を進めている。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	障害のある人が安心して暮らすためには、障害者施設が重要であり、民間事業者による施設整備を促すには、整備費の助成は必要である。						
	効率性	3	障害者施設を整備する民間事業者に対して、その整備費の一部を助成することで、慣れ親しんだ地域で生活するための居住環境及び日中活動の場を効率的に整備することができる。						
	手段の適切性	3	区有地を活用した障害者施設の整備については、整備・運営事業者を公募型プロポーザル方式で募集を行い、適切な運営予定事業者を選定した。						
目的達成度	2	平成29年度は知的障害者グループホーム1か所の整備を行うとともに、平成33年度に開設予定の知的障害者生活介護施設及び知的障害者グループホームの運営予定事業者の選定を行った。また、区内で民間事業者が不動産物件を見つけるのは難しいため、区有地を活用していくことでも障害者施設の整備を進めた。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
障害者施設を計画的に整備をすることで、障害のある方の要望に応えることができる。このため、今後も民間事業者に対する整備費助成や区有地の活用をすることにより施設整備を進めていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	